

パブリックコメント等募集結果

合板の日本農林規格の一部改正案

1. 改正案に係る意見・情報の募集の概要（募集期間：H25. 7. 22～8. 20）

(1) 受付件数 7 件（企業 4、団体 2、個人 1）

(2) 意見と考え方
別紙のとおり

2. 事前意図公告によるコメント（募集期間：H25. 6. 13～H25. 8. 5）

受付件数 なし

合板の日本農林規格の改正案に対して寄せられた意見の概要及び意見に対する考え方について

御意見の概要	件数	御意見に対する考え方（案）
全体		
シックハウス対策に対応した規格として欲しい。	1	合板のJAS規格では、シックハウス症候群の原因とされるホルムアルデヒドの放散量表示を規定しています。また、ホルムアルデヒドを含まない接着剤や塗料を使用した場合はその旨を表示し、商品の選択ができるようにしています。
第4条 普通合板		
表板に針葉樹単板を用いたものの板面の品質について、5mm以上の節をカウントするとされているが、板面Cについては10mm以上、板面Dについては50mm以上とするなど基準を緩和して欲しい。	1	節の基準の緩和が品質に及ぼす影響を検討する必要があることから、頂いたご意見については、見直しの必要性も含め、今後の検討課題とさせていただきます。
板面の品質が4等まで等級が拡大されるに伴い、別表1にフトモモ科、マメ科、アカネ科を追加して欲しい。	1	樹種は品質に影響を与えることから、別表1の樹種に追加するか否かはその必要性も含め、今後の検討課題とさせていただきます。
第7条 化粧ばり構造用合板		
化粧ばり構造用合板の化粧薄板を貼る面を片面ではなく、両面として欲しい。	1	今回の改正では片面利用を規定した規格としたことから、両面使用については検討課題とさせていただきます。
別記		
ホルムアルデヒド放散量試験の試験片の作成の方法が改正されるが、試験片数が増えることによって、測定値への影響はないのか。	1	改正によって、薄い普通合板では試験片が最大2片増えることとなりますが、測定される放散量には影響がないことを確認しています。

別記様式		
別記様式が変更されるが、現行規格の様式も継続的に使用できるようにしてほしい。	1	現行規格の様式について、一定の猶予期間を設けることとしています。

* その他の意見提出もありましたが、今回の改正案に直接関係がないものでしたので御意見として承り、今後の参考とさせていただきます。